編 修 趣 意 書

（教育基本法との対照表）

※受理番号	学　校	教　科	種　目	学　年
30 － 21	小学校	音楽	音楽	第 2 学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
27　教芸	音楽　202	**小学生の音楽 2**		

1. 編修の基本方針

編修の趣旨

私たちは音楽科の学習を通して子どもたちに「このような資質・能力を育みたい」と願いました。

●音楽によって豊かな人生を切り拓く力。

●音楽の幅広い知識や技能。

●主体的・対話的な学びによって得られる，汎用性高い学力。

こうした課題に取り組むために，次のようなことに留意して編修いたしました。

基本方針 1

音楽で生活を豊かにする心を育みます。

音楽で社会や身の回りの人々とつながる学びを促します。

基本方針 2

音楽科の確かな学力を育みます。

系統的な題材構成と質の高い教材で確かな学びを支えます。

基本方針 3

主体的・対話的な学習を引き出し，深い学びを促します。

課題意識をもって，友達と対話，協働しながら学習することで，学びの質を深めます。

基本方針 1

音楽で生活を豊かにする心を育みます。

音楽で社会や身の回りの人々とつながる学びを促します。

1 生活に息づく我が国の伝統的な音楽文化との触れ合いを促します。

わらべうたを歌いながら遊びます。

「なべ なべ そこ ぬけ」(遊び歌)

(p.60)

2 身の回りの音や音楽に対する意識を高めます。

身の回りの音に注目して，
それらを組み合わせて音楽をつくります。

(p.28・29)

3 音楽を通じてよりよい人間関係をつくる心を育てます。

外国語の挨拶の言葉で，
国際感覚を育てます。

(p.6・7)

SAMPLE…著作権の関係で楽譜の一部を見えないようにしています。

基本方針 2

音楽科の確かな学力を育みます。

系統的な題材構成と質の高い教材で確かな学びを支えます。

1 題材と教材の緊密な関係が，焦点化した学習を実現します。

年間で 10 題材を設定し，それらに密着した教材が，ねらいの明確な学習を実現します。

(p.20)

●題材と教材の関連イメージ

題　材
題材のねらい
↓
学習目標
↓
教　材
活動文

2 見やすく，スッキリとした紙面がスムーズな学習を実現します。

インクルーシブ教育の実現を目指し，特別支援教育や色覚特性の多様性などの観点から，白を基調とした紙面とし，情報の配置にも配慮しました。

(p.40・41)

3 見通しをもった学びを実現します。

目次の前に，１年間で学ぶ内容を視覚的に捉えることができるページを設けました。

「歌唱」「器楽」「音楽づくり」「鑑賞」に分けて示しています。

(p.2・3)

基本方針 3

主体的・対話的な学習を引き出し，深い学びを促します。

課題意識をもって，友達と対話，協働しながら学習することで，学びの質を深めます。

1 知識の習得や理解の深まり，学びの広がりをキャラクターがサポートします。

ミューちゃん

(p.15)

ジック君

(p.13)

2 主体的で対話的な学びを軸に学習を進めます。

音楽科の学習は従来から「主体的・対話的」な要素を多く含んでいます。この特性を生かし，「主体的・対話的で深い学び」により迫ることができるように工夫しました。

(p.28・29)

考える観点を例示しながら，主体的で対話的な学びを引き出します。

特に意を用いた点

国歌「君が代」の尊重

国歌「君が代」への意識を高められるページを，すぐに開くことができる最終ページに設けました。

国歌「君が代」がどのような場面で歌われるのかを例示しています。

(p.82・83)

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
①音楽で みんなと つながろう	外国語の挨拶の言葉を含めた教材や外国の遊び歌や踊り歌の学習を通して，他国を尊重する態度を養えるようにしました。（第五号）	p.6 ～ 10
	我が国で行われている伝統的な芸能の学習を通して，我が国の伝統と文化を尊重する態度を養えるようにしました。（第五号）	p.11
②はくの まとまりを かんじとろう	リズムの基礎となる「拍」と，拍のまとまりによって生まれる「拍子」を感じ取る学習を設定し，音楽活動に必要な知識や技能を身に付けられるようにしました。（第一号）	p.14 ～ 19
③ドレミで あそぼう	歌唱や鑑賞の教材を通して，音高に関する感覚を確実なものにできるようにしました。特にドレミの風船のイラストによって，一層理解が進むよう工夫しました。（第一号）	p.20 ～ 27
	「音楽づくり」の学習活動を通して，創造性を養えるようにしました。（第二号）	p.27
④せいかつの 中に ある 音を 楽しもう	身の回りの音を用いて，創造性豊かに「音楽づくり」の学習活動ができるようにしました。（第二号）	p.28・29
⑤リズムを かさねて 楽しもう	２つのパートに分かれてリズムを打ち合わせる学習活動を通して，より確実な拍子感を身に付けられるようにしました。（第一号）	p.32 ～ 37
	互いの楽器の音を聴き合いながら，協力して合奏することを通して，自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。（第三号）	p.32 ～ 37
⑥くりかえしを 見つけよう	旋律の反復が音楽を構成する要素の一つであることに気付くことができるようにしました。（第一号）	p.38 ～ 43
	リズムの反復を用いて音楽をつくる学習活動を通して，個人の価値を尊重し，創造性を培えるようにしました。（第二号）	p.40・41
⑦いろいろな がっきの 音を さがそう	打楽器の様々な音色を感じ取り，それを用いて音楽をつくる学習活動を通して，音楽活動に必要な知識を身に付けられるようにしました。（第一号）	p.44 ～ 49
⑧ようすを おもいうかべよう	自然や動物の様子を思い浮かべながら歌唱したり鑑賞したりすることを通して，生命を尊び，自然を大切にする態度を養えるようにしました。（第四号）	p.50 ～ 57
⑨日本の うたで つながろう	我が国のわらべうたを聴いたり歌ったりすることや遊びを通して，我が国の文化を尊重する態度を養えるようにしました。（第五号）	p.58 ～ 60
⑩みんなで あわせて 楽しもう	互いの声や楽器の音を聴き合いながら，協力して歌ったり合奏したりすることを通して，自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。（第三号）	p.62 ～ 65
	自然や動物の様子を思い浮かべながら歌唱することを通して，生命を尊び，自然を大切にする態度を養えるようにしました。（第四号）	p.68・69
うたいつごう 日本の うた	我が国で長く歌い継がれている，季節にまつわる歌を歌うことを通して，我が国の伝統と文化を尊重する態度を養えるようにしました。（第五号）	p.70・71
みんなで 楽しく	歌を通して自然や動物などに対する思いを高められる教材を配列しました。（第四号）	p.72 ～ 77
国歌「きみがよ」	国歌「君が代」がどのような場面で歌われるのか知ることを通して，国歌「君が代」を尊重する態度を養えるようにしました。（第五号）	p.82・83

編修趣意書

（学習指導要領との対照表）

※受理番号	学　校	教　科	種　目	学　年
30 － 21	小学校	音楽	音楽	第 2 学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
27　教芸	音楽　202	**小学生の音楽 2**		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1 学習の流れを見通しながら，スムーズな学習ができる

学習手順を番号で示して，流れを分かりやすくしています。

（p.46・47）

2 系統的な題材構成・題材のねらいに即した教材

学年間のつながりを見通した題材のもとに，題材のねらいに即した教材を配しています。

関連する要素

（p.38，40，42）

3 主体的・対話的で深い学びを引き出す紙面

音を選んで短い旋律をつくり，それを互いに共有し合いながら，主体的・対話的で深い学びを引き出す活動を設定しました。

これらの音楽づくりの学習は，プログラミング教育の視点でも活用できます。

（p.27）

4 特別支援教育やユニバーサルデザインの視点

写真やイラストの上の文字については，デザイン性を考慮しつつ，文字の見やすさにも配慮しました。

背景イラストの模様を抑えて，歌詞の視認性を高めています。

（p.30・31）

楽譜の読みやすさを重視し，背景を白地にしています。

5 社会と音楽の関わりへの意識を促す教材

国際理解教育の観点から，諸外国の芸能や音楽に触れるほか，我が国の芸能や音楽への興味・関心を引き出します。

(p.10)

(p.11)

6 我が国の文化を大切にする心情を育てる教材

古くから伝わるわらべうたを遊び方とともに取り上げました。

(p.58・59)

7 ICT 機器の活用への対応

学習をサポートするコンテンツを，紙面上の二次元コードを読み取ることによってICT機器で閲覧することができるようにしました。

鍵盤ハーモニカの演奏の音声がある，当社のウェブサイトに誘導します。

(p.23)

8 教科書の特色

基本事項	教育基本法の遵守	●教育基本法第二条の「教育の目標」を達成するため，次のような点を重視して編修しました。 ①音楽で生活を豊かにする心を育む。　②音楽科の確かな学力を育む。 ③主体的・対話的な学習を引き出し，深い学びを促す。
	学習指導要領の遵守	●学習指導要領に示された音楽科の目標を踏まえ，指導すべき内容を網羅しました。
内容	系統性	●児童の発達段階を考慮して，６年間を見通した学習プログラムである「題材」を各学年に設定し，題材のねらいに即した教材を配列して系統的な学びを実現できる内容としました。
	配列・分量	●学習をスムーズに進められるよう題材及び教材を配列し，学習内容の分量も適切になるよう配慮しました。
	学習意欲・主体的な学習態度の育成	●目次とは別に，歌唱，器楽，音楽づくり，鑑賞の学習内容について，１年間の学びを俯瞰できるページを設けました。(p.2・3)
	歌唱教材	●児童の声域や心身の発達段階を考慮して，音域や難易度，歌詞の内容を吟味しました。
	器楽教材	●児童の発達段階を考慮して，段階を踏みながら確実に演奏技能を習得できるようにしました。
	音楽づくり教材	●学習の手順を分かりやすく示すとともに，吹き出しなどで児童の考えや工夫の視点を例示することによって，児童の「思いや意図」をどのように生かすのかが分かるように工夫しました。
	教材のユニバーサルデザインへの取り組み	●児童の発達段階に応じて，多くの児童が無理なく取り組める音域や難易度の中で教材を選択・開発しました。
	鑑賞教材	●児童の発達段階と題材のねらいに即した教材を選択し，学習を進めるうえで有益な写真や絵譜，譜例なども示しました。
	主体的・対話的で深い学び	●「主体的・対話的で深い学び」を実現するために参考となる学びの手順や工夫の視点を具体的に示しました。(p.28・29，40・41，46・47，52・53)
	伝統と文化の尊重	●我が国の伝統的な音楽に関わる題材を配置し，それらに親しみながら学習を進められるようにしました。(p.58 ～ 60)
	国際理解	●外国語の挨拶の言葉に触れることができる教材を掲載しました。(p.6・7)
		●国際理解教育との関連に配慮して，外国の遊び歌や踊り歌を掲載しました。(p.8 ～ 10)
	〔共通事項〕	●教材を指導する際の目安となる，〔共通事項〕に示された音楽を形づくっている要素をページ下に表示し，「ふりかえりの ページ」でも一覧できるようにしました。
その他	ICT 機器の活用	●紙面上の二次元コードから URL を読み取ることによって，指導に役立つ画像などのコンテンツを閲覧できるようにしました。
	特別支援教育への配慮	●特別支援教育の専門家から助言を得て，楽譜や文字の配置や見せ方を工夫し，見やすく分かりやすい紙面になるよう配慮しました。
		●色覚問題の専門家から助言を得て，色の見分けがつきにくい児童の色覚特性にも配慮した配色にしました。また，学習に必要な情報が，色の違いのみに依存しないよう工夫しました。
	文字・印刷・製本	●文字は見やすく，過度にデザイン的にならないよう配慮しました。
		●印刷は鮮明で，製本は開きがよく安全で堅牢な「糸中綴じ方式」を採用しました。６本の糸はそれぞれ独立しており，うち１本が損傷しても影響はごく軽微です。

2. 対照表

図書の構成		学習指導要領の内容																			
ページ	教材名	歌唱					器楽						音楽づくり						鑑賞		〔共通事項〕	
		ア	イ	ウ			ア	イ		ウ			ア		イ		ウ		ア	イ	ア（要素）	イ（仕組み）
				（ア）	（イ）	（ウ）		（ア）	（イ）	（ア）	（イ）	（ウ）	（ア）	（イ）	（ア）	（イ）	（ア）	（イ）				
6	メッセージ	○	○	○	○	○															○	○
8	◎小犬の ビンゴ			○															○	○	○	
10	◎ティニクリン 他																		○	○	○	
12	かくれんぼ	○	○	○	○	○															○	○
14	はしの 上で	○	○	○		○															○	
16	たぬきの たいこ	○	○	○		○															○	
18	◎ミッキーマウス マーチ／◎メヌエット																		○	○	○	
20	◎ドレミの うた	○	○	○	○														○	○	○	
22	かっこう	○	○	○			○		○	○	○										○	
24	かえるの がっしょう	○	○	○		○	○	○	○	○		○									○	○
26	ぷっかり くじら	○	○	○		○	○	○		○		○	○			○	○				○	
28	さがして つくろう												○	○	○	○	○	○			○	○
30	虫の こえ	○	○	○	○	○															○	
32	この 空 とぼう	○	○	○		○	○			○		○									○	
34	いるかは ざんぶらこ	○	○	○		○	○			○		○									○	
36	山の ポルカ	○	○	○		○	○			○		○									○	
38	かねが なる	○	○	○		○															○	○
40	おまつりの 音楽												○	○		○		○			○	○
42	◎トルコ こうしんきょく																		○	○	○	○
44	◎だがっき パーティー																		○	○	○	
46	がっきで おはなし								○		○		○		○	○	○				○	○
48	かぼちゃ	○		○		○	○	○	○	○	○	○									○	
50	あのね、のねずみは	○	○	○	○	○															○	
52	◎たまごの からを つけた ひなどりの バレエ																		○	○	○	○
54	夕やけこやけ	○	○	○	○	○															○	
56	小ぎつね	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○									○	
58	◎ずいずい ずっころばし／ ◎あんたがた どこさ			○															○	○	○	
60	なべ なべ そこ ぬけ	○	○	○		○															○	
61	ばんそうあそび									○		○	○			○	○				○	
62	どこかで	○	○	○		○															○	○
64	こぐまの 二月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									○	
66	◎エンターテイナー																		○	○	○	○
68	はるが きた	○	○	○	○	○															○	○
70	うたいつごう 日本の うた	○	○	○	○	○															○	
72	あの 青い 空のように／はるの まきば	○	○	○	○	○															○	○
73	海と おひさま	○	○	○	○	○															○	
74	手のひらを たいように	○	○	○	○	○															○	
75	どらやきバウンド	○	○	○	○	○															○	
75	ドレミで あそぼ	○	○	○	○	○	○	○		○		○									○	
76	アイアイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									○	○
82	国歌「きみがよ」	○	○	○	○	○															○	